

まちのわだい

Town Topics

家族みんなでバイクとサーキットを楽しむ

家族みんなでバイクに触れる機会を提供しようと、平成23年からスタートした「MFJ親子バイク祭り」が、市内村岡にある筑波サーキットで開かれました。今年で4回目。当日は小雨交じりの天気となりましたが、会場には県内外から約900人の親子連れやゲストライダーたちが集まり、ミニバイクレースや体験イベントなどを堪能していました。子ども向けの体験コーナーでは、専属インストラクターの指導で体験試乗するミニバイクや、足で地面を蹴って進む自転車タイプのストライダーが人気を集めていました。東京都練馬区から家族4人で参加し、夫婦でバイク好きという森山淳さん・絵理子さんは「子どもたちにもバイクを体験させたい」と思い、ネットで調べていたら、このイベントがヒットした。筑波サーキットに来るのは初めてだが、東京からは思ったより近くて来やすかった。ほかのイベントでも参加したい」と話し、ミニバイクを体験試乗した湊くん(5)・湊くん(3)の兄弟は「もっともっと乗りたい」とバイクの楽しさを実感していました。



親子でミニバイクにチャレンジする来場者

歩いて健康、春との出会い

春の恒例行事となった蚕飼地区まちづくり推進委員会が主催するウォーキング大会。参加者が歩くコースは、市内大園木にあるやすらぎの里しもつまのリフレこかいを発着点に、地区内の沿道や小貝川の河川敷などを巡る5キロと7キロの2コースから選択することができます。大会当日は、小雨が降る肌寒い日となりましたが市内外から119名が参加し、両コースとも全員が完歩しました。7キロのコースで最初にゴールした40代の夫婦は「たっぷり歩いていい運動になりました。楽しかったです」と笑顔。所要時間は1時間10分でした。ゴールした参加者たちには参加賞やおにぎり、温かい豚汁が振る舞われ、食事をしながら会話が弾んでいました。



ひな人形に見入る来場者

鮮やかなひな人形に囲まれて

下妻市ふるさと博物館の企画展「第4回ひなに魅せられて～ひな人形の世界～」が2月7日から3月8日まで開催されました。館内には、市内の旧家や商家から借りた江戸時代から現代に至るひな人形など約100点が展示。県内外から約3,000人が訪れました。3月1日のイベントでは、フルート、バイオリン、キーボードの演奏や、市内のきぬ保育園、もみの木保育園の年長園児23人による合唱などが披露され、来館者には抹茶のおもてなしも行われました。つくば市から家族4人で訪れた志藤みゆきさんは「今回のイベントは無料で入館できる上に、子どもたちにひな人形について教えるのに良い機会になった。フルートやバイオリンなどの生演奏は普段なかなか聴けないのでとても良かった」と笑顔でした。



芽吹く麦畑の中を歩く参加者の列

きれいな砂沼でお出迎え

茨城百景にも選定された桜の名所「砂沼」で、「砂沼をきれいにする運動」が行われました。桜が咲く前にきれいな「砂沼」を保ち、県内外から多くの観光客を迎えようと、市内の各種団体や砂沼周辺の自治会などから355名が参加。小雨交じりの中で行われたごみ拾いでは、遊歩道や護岸から可燃ごみ450キログラム、不燃ごみ150キログラムと、今年も膨大なごみが回収されました。早朝からごみ拾いに参加した70代の男性は「桜が咲く前に、(砂沼が)きれいになって良かった。このきれいな状態が続くように、ごみを捨てる人が出ないでほしい」と整然とした遊歩道を眺めながら、「これから桜が咲くのが楽しみ」と話してくれました。



小雨交じりの中、砂沼の遊歩道のごみ拾いをする参加者

希望を胸に旅立ち

市内の中学校3校で3月11日、卒業式が行われました。晴れやかな笑顔、友と別れる悲しみにくれる涙顔。壇上で校長先生から卒業証書を受け取った421名の卒業生たちはそれぞれの思いを胸に抱き、新たな道へと旅立ちました。また、3月19日には市内各小学校で卒業式が行われ、進学する中学校の制服を着て式典に臨んだ414名の児童が、6年間で大きく成長した姿を披露し、慣れ親しんだ学び舎をあとにしました。



卒業生全員での別れの言葉(宗道小学校)

子授け祈願と招福を願う節分祭

毎年、旧暦1月14日に行われる高道祖神社の「道祖神祭」。一つは子授け祈願の祭りとして、もう一つは厄払いと招福を願う節分祭として追儺の豆まきが地域の信奉を集めています。今年3月4日が開催日にあたり、子授けの祈禱には、市内外から多くの参拝者が訪れました。社務所では、高道祖神社の縁起物である陰陽物を模した紅白のしん粉餅が販売されましたが、今年は瞬く間に売り切れとなっていました。男性は女陰を模した方を、女性は陽物を模した方を食べると、ご利益が増すといわれています。また、追儺の豆まきでは、氏子や年男が豆やお菓子などをまき始めると、参拝者からは「こっち、こっち」と声が飛び交い、大きな袋を頭上に差し出す姿も見受けられました。



福を呼び込もうと参拝者でにぎわう境内



一人一人に卒業証書が手渡されました(東部中学校)